

2.0x テレプラス MC7 DGX キャノン EOS/ニコン用 使用説明書

広角～
200mm
レンズ

デジタル
一眼レフ※

35 mm
フィルム
一眼レフ

純正レンズ
および
トキナーレンズ

この度は、2.0x テレプラス MC7 DGXをお買い上げ
いただき誠にありがとうございます。2.0x テレプ
ラス MC7 DGXは、マスターレンズの焦点距離を2倍に
伸ばすテレコンバージョンレンズです。

新たな機能として、装着時の焦点距離、F値を変換し、
Exif情報に記録します。

本説明書では、マウントごとに説明をしてありますの
で、ご自分のカメラマウントの使用説明をよく読み、
十分に理解してから正しくお使いください。

■ 安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「安全上のご注意」
よくお読みになり、それぞれの注意事項をおまもりください。

本説明書では、次の
ような絵表示を使用
しています。

- △は、注意が必要な内容があることを示しています。図の中に描かれているのは注意の内容です。(左図は発火注意)
- ⊘は、禁止を示しています。図の中に描かれているのは禁止の内容です。(左図は分解禁止)
- ❗は、指示を示しています。図の中に描かれているのは指示の内容です。(左図は注意する旨の指示)

本説明書では、危険をその内容、程度に応じ、
次の2種類に分けています。

⚠ 警告

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

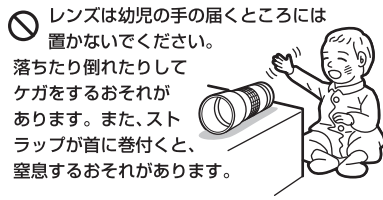
この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、
人が障害を負う可能性があります。また、
物的損害が発生する可能性があります。

⚠ 警告

⊘ レンズで直接太陽をのぞかないで
ください。失明の原因と
なります。

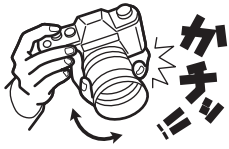


⊘ レンズは幼児の手の届くところには
置かないでください。
落ちたり倒れたりして
ケガをするおそれ
があります。また、スト
ラップが首に巻くと、
窒息するおそれがあります。



⚠ 注意

❗ レンズをカメラに装着する時は、レン
ズをカメラに正しくセットし、きちん
とロックされたことを確認してください。
正しく装着されていない場合、レンズがは
ずれなくなっ
たり、はずれ
て落下しケガ
をしたりする
おそれがあり
ます。



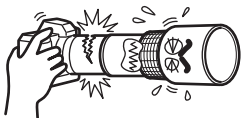
❗ 結婚式や海外旅行など大切な写真を撮
る時には、
必ず事前にレン
ズをチェックし
たり試し撮りを
したりして、失
敗を防ぐように
してください。



⊘ 日光が直接当たるところにレンズを置
かないでください。レンズによって近く
の物に集光し、火災が発生する
おそれがあります。



⊘ レンズを取り付けるときは確実に取り
付けてください。緩んで脱落して割れ
ると、機材やガラスの破片でけがをす
る恐れがあります。
三脚に機材を取り付けたまま移動しない
でください。転倒したり、ぶつけたりして
けがをするおそれがあります。
重量の重いレンズを使用する場合にはレン
ズの三脚座をご使用になり、カメラ側には
三脚や一脚等で補助をしてください。重い
レンズを支えなしに使用いたしますと、テ
レプラスとカメラやレンズとの接点の接触
が悪くなり、絞りが動かない場合があります。
また接点の故障の原因にもなります。



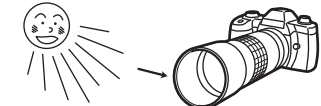
⊘ レンズを改造、変造しないでください。
レンズやカメラ
の故障の原因にな
ります。
改造、変造したレン
ズはサービスセン
ターでの修理が受け
られない場合があります。



⊘ オートフォーカス作動中はフォーカス
リングの動きを妨げないでください。
また、AFモード時
にフォーカスリン
グを無理やり手で
回さないでくださ
い。レンズやカメ
ラ内部を破損させ
る原因となります。



❗ 有害光線を除去するために、レンズフ
ードを装着して撮影してください。
※一部のフィルターを装着した場合、フード
が取り付けられない場合があります。
※ストロボ使用時、フードによるケラレが発
生する場合はフードをはずしてください。



❗ レンズを使用しない時は、必ずフロン
トキャップとリヤキャップを付けてく
ださい。電子接点が
腐食したり、連動ピ
ンが曲がったりして、
作動不良をおこす原
因となります。



■ キヤノンEOS用

■ カメラへの脱着

1. メインスイッチをLOCK (OFF) にし、マスターレンズをカメラから取り外します。
 2. テレプラス前部 (マスターレンズ側) の赤点とマスターレンズマウント部の指標を合わせてはめ込み、時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。
 3. テレプラス後部 (カメラボディ側) の赤点をカメラボディの指標に合わせてはめ込み、時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。
- ※装着の際、「カチッ」と音がするのを必ず確認してください。
※バッテリーが消耗している場合や装着が不完全な場合、カメラに「bc」が表示されミラーアップする場合があります。この場合、カメラからレンズおよびテレプラスを取り外し、シャッターボタンを半押ししてミラーアップを解除した後、バッテリー等の確認を行ってください。
4. 取り外しは、装着と逆の手順で行ってください。
- ※EF-Sマウントは、取り付けできません。

■ 露出の決め方

テレプラスはTTL・AE連動です。テレプラス使用時はF値が2絞り分暗くなりますが、カメラが自動的に露出補正しますので通常通り撮影が行えます。

■ 絞り値の表示について

絞り値は実行F値に変換されて表示されます。
※テレプラスのレンズ部が固定絞りの役割を果たすため、マスターレンズのF値がF1.8よりも明るい絞りではご使用になれません。仮にF1.2の絞り値にセットしても、F1.8で撮影され適正露出になりません。

■ 合焦機能について

- ・開放F値が変わるズームレンズ (例：3.5～5.6など) に使用した場合、望遠側でAFが作動しなくなる場合がありますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。
- ・200mm以上のレンズに使用した場合、被写界深度が浅くなるためAFでのピント合わせがしづらくなりますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。また、周辺減光が起きる場合があります。
- ・バッテリーが消耗している場合、AFでのピント合わせができない場合があります。バッテリーが完全に消耗していない場合でも、AFでのピント合わせができない場合は、バッテリーを交換してください。
- ・テレプラス使用時は顔検出AFが正常に働かない場合があります。
- ・Aタイプレンズはマニュアルフォーカスができないため開放F値が暗いレンズにはご使用になれません。
- ・下記〈AF作動不能レンズ〉を除く全てのレンズで開放F値がF2.8より明るいレンズは、AF撮影が可能です。
- ・開放F値がF3.5よりも暗いレンズに使用した場合、カメラの構造上、AFでのピント合わせが正確にできなくなりますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。
- ・レンズによっては自動的にマニュアルフォーカスに切り換えられるレンズがあります。
- ・F8センサー搭載カメラについて
テレプラスはF8センサーに対応していませんので、合成F値がF5.6を超えた場合 (マスターレンズのF値がF2.8を超える場合) は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

〈AF作動不能レンズ〉
EF 50mm F1.8

■ 露出モード・測光方式について

- ・各露出モードにおいて適正露出が得られます。
- ・スピードライトのご使用は可能ですが、最大調光範囲は0.5倍になります。
- ・各測光モードにおいて適正露出が得られます。

■ 仕様

- 倍率…………… 2倍
 - 露出倍数…………… 4倍（2絞り分）
 - レンズ構成……………5群7枚
 - コーティング…………… マルチコート
 - 鏡筒長さ…………… 35.8mm
 - 鏡筒径…………… 67.0mm
 - 重さ…………… 157g
- ※USM（超音波モーター）に対応しています。

■ 使用についてのご注意

- ・本製品ならびにその他エクステンダーの複数接続でのご使用はおやめください。
- ・本製品はキャノン純正レンズおよびトキナーレンズに対応しております。その他のレンズには対応しておりません。他メーカーのレンズは、故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・作動不良の原因となりますので IS（手ブレ補正機構）はOFFにしてお使いください。
- ・電気接点を持たないマスターレンズには使用できません。
- ・本製品をお使いにならないときは、カメラから取り外して、レンズ部などに汚れやキズが付かないようにフロントキャップとリヤキャップを指標に合わせて装着し保管してください。

＜Exif（カメラデータ）情報について＞

Exif情報に記録される画像データ（焦点距離/絞り値）は、テレプラス装着時のデータが反映されます。
例：100mm f2.8に装着時
レンズ情報は、200mm f5.6として記録されます。

※テレプラスを使用して撮影した写真データを、画像処理ソフトでExif情報を確認した場合、使用したレンズの名称が表示されない場合があります。

ニコン用

■ カメラへの脱着

- 1.カメラのメインスイッチをOFFにし、マスターレンズをカメラから取り外します。
- 2.テレプラス前部（マスターレンズ側）の赤点とマスターレンズマウント部の指標を合わせてはめ込み、反時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。
- 3.テレプラス後部（カメラボディ側）の赤点をカメラボディの指標に合わせてはめ込み、反時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。
※装着の際、「カチッ」と音がするのを必ず確認してください。
※ニコンIX240システム一眼レフAFカメラはAFニッコールレンズを使用する場合のみ適合します。IXニッコールレンズには装着できません。無理な取付けはレンズが破損する恐れがありますので、絶対におやめください。
4. 取り外しは、装着と逆の手順で行ってください。

■ 露出の決め方

テレプラスはTTL・AE連動です。テレプラス使用時はF値が2絞り分暗くなりますが、カメラが自動的に露出補正しますので通常通り撮影が行えます。

■ 絞り値の表示について

- ＜液晶パネル採用のカメラの場合＞
 - ・絞り値は実効F値に変換されて表示されます。
 - ※ダイヤルで絞り値をセットする場合は、必ずマスターレンズの絞りを最小絞りにロックしてください。ロックされていない場合は、エラー表示が出ないで誤動作してしまいますのでご注意ください。

＜直窓式表示のカメラの場合＞

- 絞り値は絞りリングでの確認となります。実行F値は表示より2絞り分暗くなります。
- ※テレプラスのレンズ部が固定絞りの役割を果たすため、マスターレンズのF値がF1.8よりも明るい絞りではご使用になれません。仮にF1.2の絞り値にセットしても、F1.8で撮影され適正露出になりません。

■ 合焦機能について

- ・開放F値が変わるズームレンズ（例：3.5～5.6など）に使用した場合、望遠側でAFが作動しなくなる場合がありますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。
- ・200mm以上のレンズに使用した場合、被写界深度が浅くなるためAFでのピント合わせがしづらくなりますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。また、周辺減光が起きる場合があります。
- ・開放F値がF3.5よりも暗いレンズに使用した場合、カメラの構造上、AFでのピント合わせが正確にできなくなりますので、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。
- ・バッテリーが消耗している場合、AFでのピント合わせができない場合があります。バッテリーが完全に消耗していない場合でも、AFでのピント合わせができない場合は、バッテリーを交換してください。
- ・テレプラス使用時は動体予測AFが正常に動かない場合があります。
- ・テレプラス使用時は被写界深度が浅くなるため、マニュアルフォーカスでピント合わせを行う際、合焦マークが点灯しない場合があります。
- ・F8センサー搭載カメラについて
テレプラスはF8センサーに対応していませんので、合成F値がF5.6を超えた場合（マスターレンズのF値がF2.8を超える場合）は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

＜AF作動不能レンズ＞

AF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G ED
AF-S NIKKOR 14-24mm F2.8G ED
AF-S NIKKOR 24-70mm F2.8G EDは、オートフォーカスが作動しません。マニュアルフォーカスでご使用ください。

■ 露出モード・測光方式について

- ・各露出モードにおいて適正露出が得られます。
- ・スピードライトのご使用は可能ですが、最大調光範囲は0.5倍になります。
- ・各測光モードにおいて適正露出が得られます。（ただし、F401Sの場合はマニュアルまたはAEロック状態での中央重点測光となります。）

■ 仕様

- 倍率…………… 2倍
 - 露出倍数…………… 4倍（2絞り分）
 - レンズ構成……………5群7枚
 - コーティング…………… マルチコート
 - 鏡筒長さ…………… 35.8mm
 - 鏡筒径…………… 67.0mm
 - 重さ…………… 191g
 - 露出計連動方式…………… CPU方式/Ai方式
- ※AF-S（超音波モーター）に対応しています。

■ 使用についてのご注意

- ・本製品ならびにその他テレコンバータの複数接続でのご使用はおやめください。
- ・本製品はニコン純正レンズおよびトキナーレンズに対応しております。その他のレンズには対応しておりません。他メーカーのレンズは、故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・作動不良の原因となりますので VR（手ブレ補正機能）はOFFにしてお使いください。
- ・本製品をお使いにならないときは、カメラから取り外して、レンズ部などに汚れやキズが付かないようにフロントキャップとリヤキャップを指標に合わせて装着し保管してください。
- ・テレプラスには、AFカプラー運動ギヤが入っております。ピンtringの回転が重くなったり回転の音が大きくなる場合がありますので、ご了承ください。
- ・レンズ未装着時にテレプラスの連動レバーが固定されていないためカタカタと音がしますが、不具合ではありません。
- ・カメラの操作をしばらく行わず、待機状態となった場合、カメラとテレプラスの間でレンズ信号の通信が停止し、突然のシャッターレリーズに対応できません。撮影前にシャッターを半押ししていただくか、あらかじめカメラ本体の「半押しタイマー」を設定してください。

＜Exif（カメラデータ）情報について＞

Exif情報に記録される画像データ（焦点距離/絞り値）は、テレプラス装着時のデータが反映されます。
例：100mm f2.8に装着時
レンズ情報は、200mm f5.6として記録されます。

※テレプラスを使用して撮影した写真データを、画像処理ソフトでExif情報を確認した場合、使用したレンズの名称が表示されない場合があります。

※D7000、D4などのカメラにCPUを搭載していないAiまたはAi-Sレンズを使用した場合、テレプラスを使用してもExif情報は自動変換されません。あらかじめ、テレプラスを使用した場合の焦点距離、F値を設定してください。



株式会社 ケンコー・トキナー

URL：http://www.kenko-tokina.co.jp/

本社／〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19
東京営業所 TEL 03(5982)1060（代表）
営業所／出張所／東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌